

# 三小タイムズ

令和3年6月1日発行 校長 辻 久恵

## 体育授業 (5年1組)

単元名 陸上運動：走り幅跳び「水たまりを跳び越そう」

### 本時のねらい

【知識及び技能】・両足で着地できるようにする。

【学びに向かう力、人間性】・走り幅跳びに積極的に取り組むことができる。

・場や用具の安全を保持しながら、運動することができるようにする。

### 学習の展開

- 準備運動を行う。
  - 運動に対して気持ちを高めることができるよう、挨拶後すぐに音楽をかけ、非日常感を演出する。
  - 跳躍につながるような運動を取り入れる。
- 走り幅跳びの約束を確認する。
  - 目の前にあるゴムが水たまりの端であると想定して、水たまりを跳び越す遊びであると伝える。
  - 安全面として3点を確認する。
    - ・着地し終わったら前方に抜けること。
    - ・跳び終わったら次の人に合図を送ること。
    - ・人がいるときは跳ばないこと。
- 全力で水たまりを跳び越える。
  - 全力で跳び越そうとしている児童、安全確認をしている児童を称賛する。
  - 遠くに跳んでいる児童に、なぜ遠くに跳んでいるか発問する。
- どうしたら、さらに大きな水たまりを跳び越すことができると思うかOPPシートに記入し、考えを共有する。
  - C助走…自分に合った距離
  - C強く踏み切る…踏み切る時、速度を落とさない
  - C片足で踏み切る…利き足がいい。
  - T助走、踏切を考えながらやってみよう。
- 全力で水たまりを跳び越える。
  - 全力で跳び越そうとしている児童、安全確認をしている児童を称賛する。
  - 遠くに跳んでいる児童に、なぜ遠くに跳んでいるか発問する。
- 学習を振り返る。
  - 体育ノート (OPPシート) に記入し、考えを共有する。
  - Tこんなことをしたらうまくいったことを教えてください。
  - C踏み切った足を前に出して、空中の足を引き寄せる。
  - T水たまりを跳び越すというのは走り幅跳びと言います。助走、踏み切り、空中動作、着地の4つのポイントがあります。次回からこれの一つずつ学習していきます。何からやりますか。
  - C助走。
- 整理運動をする。

